



持続可能な有機農業の輪を広げ、つくる人・食べる人・つなげる人の
有機的な関係を応援する有機 JAS 登録認証機関
Hyogo prefecture Organic Agriculture Society

特定非営利活動法人
兵庫県有機農業研究会 HOAS

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 5-5-12

TEL.: 078-367-8567

FAX.: 078-367-8578

E-mail: hyoyuken@hyoyuken.org

Web: http://hyoyuken.org/

2026 年 8 月 3 日 発行 第 72 号

新 HOAS 通信 (仮)

募集中

タイトル

本年11月号より『HOAS通信』をリニューアルします。

つきましては、皆様よりタイトルを募集いたします。有機農業界の新しい時代を拓く会報にふさわしい名前を、ぜひお寄せください。(締切:9月30日。当会理事会にて選考いたします。)

メール: hyoyuken@hyoyuken.org(代表アドレス)/FAX: 078-367-8578



『トマトの叫び』

判定員 永井 耕介

トマトの害虫の中には葉をかじる虫、触角を突き刺し樹液を吸い取る虫、植物体内を歩き回る虫等があります。樹液を吸い取る際に病気の拡散に関係する虫類もいます。

一般に、窒素肥料の効いた緑色の濃い葉に虫は卵を産み付けます。どうして、濃い緑色の葉に集まるのでしょうか。それは、虫にとって、濃い緑の葉は本能的に卵を産み付けるのに適した場所に思えるようです。卵が孵化した後の餌に不足しないからです。

では、トマトの側から害虫に対する備えがあるのでしょうか。物理的な方法としては産毛のような無数の毛です。それらは約10 μ m(マイクロメートル※)の表皮細胞が変化してできたものです。

また、化学的な方法としては苦み成分があります。トマトの植物のすべての組織には多かれ少なかれ、「トマチン」が含まれています。トマチン

は毒性のある糖アルカロイド物質で青臭さの成分です。トマチンは人間だけでなく虫や病原菌にも嫌われる成分です。

地上部で最もトマチン含量が高い部位は花で、次いで葉、茎、果実です。花が最も高いのは、虫の食害から最も守るべき部位は次世代の種を作る花ということなのではないでしょうか。果実は未熟果実のトマチン含量が高く、白熟期(色づく直前)には分解酵素のトマトナーゼによって約10分の1に減少します。さらに、完熟果になると約100分の1に激減するので、次世代の種ができるまで果実をかじられないためにトマチンが守っているのです。

中には未熟な果実でも食害されている場合を見かけます。その場合、人だったら「痛い、助けて」等と叫びながら逃げることになります。ところが、植物は根があって移動できません。最近の研究で、かじられた部分からおい物質を放出することが明らかになっています。しかも、食害の虫の種類によっておい物質の種類が異なるのです。その匂いによって、クモやテントウムシ等の天敵(益虫)を呼び求めているのです。

うまくできていると思われませんか？

(※1 μ m = 0.001mm)

Contents

P.1 巻頭言

P.2 認証事業者の皆様へ

P.3 HELLO!! FARMERS

P.4、5 【報告】オーガニックライフスタイルEXPO in京都

P.6 事業者紹介／

私たちの顔の見える関係「CSA」

P.7 有機農家の世界

「公開します！牛尾農場の収支」

P.8 掲示板



HOAS

認証事業者の皆様へ **確認** 「押出し・とも洗いについて」

有機農産物、加工食品に携わる事業者で、精米機や焙煎機械などを使用の方がおられます。

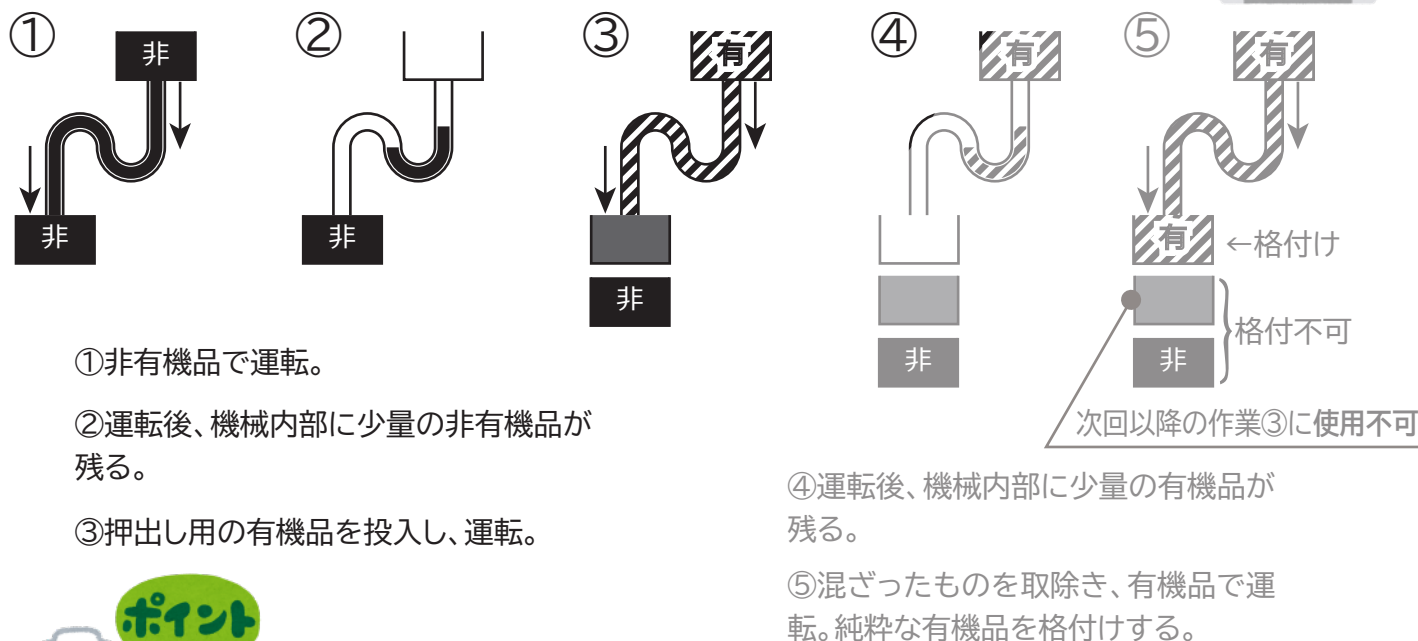
それらの機械は洗浄が困難であったり、内部構造が複雑であるため、有機品と非有機品の両方で使われると、内部で混ざってしまうことがあります。混ざらないようにするために必要な作業が「押出し・とも洗い」です。

今一度、方法を確認しておきましょう。



【押出し・とも洗い】

非有機品を処理した後の機械設備の中に、非有機品の一部が残存している場合、後から有機品を処理すれば非有機品が混ざってしまう。これを防ぐために、後から処理する有機品の一定量(押出し)を格付けの対象外とする。これにより、押出し後の純粋な有機品を格付けの対象とすることができる。



ポイント



- ・機械に残る非有機品の量については機械メーカーに確認する・前もってテストを行うなど、格付けのために根拠のある分量を定めておく。
- ・押出し用の有機品は、必ず「有機品」を使用する。
(残り物等の使いまわしはNGです。)
- ・押出し実施の都度、記録をつける。
(押出しに使用したものをどうしたのか、の記録が必要です。)
- ・④⑤の手順で発生した混ざったものは、有機品として格付けできない。

ヘビ対策をお願いします。

ヘビ
出没注意



実地検査の際、圃場でヘビに咬まれる事故が発生しました。検査前には特に、草刈りを念入りにされますよう、お願いします。

秋にかけてはハチなども活動が活発化します。くれぐれも、お気をつけください。